

G GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660



**ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE**

2017-18年度 国際ロータリー テーマ

ROTARY : MAKING A DIFFERENCE

ロータリー：変化をもたらす

2017-18年度 第2660地区ガバナースローガン

個性を活かし、参加しよう

2017-18年度 国際ロータリー第2660地区

ガバナー 片山 勉



2017—2018 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信 8月号 Vol.2

CONTENTS

ガバナーメッセージ 会員増強・新クラブ結成推進月間に寄せて	1
会員増強・新クラブ結成推進月間にあたって	3
RI第3ゾーン戦略計画推進セミナー 報告	5
第1回 公共イメージ向上セミナー 報告	6
アトランタ国際大会 報告	7
アトランタ国際大会「RI2660地区大阪ナイト」 報告	8
2020-21年度ガバナー候補者推薦について	9
2019年規定審議会・立法案提出について	10
ロータリー財団 2017-18年度 奨学生提唱(推薦)のお願い	11
春のRYLAセミナー 報告	13
青少年交換 来日学生・派遣学生 歓送会 報告	14
開明中学校・高等学校インターアクトクラブ認証状伝達式 報告	15
DDF・DG配分実績 報告	17
My Rotary 登録状況	19
文庫通信	21
コーディネーターニュース	22
国際ロータリー第2660地区 2017-18年度 地区大会プログラム	23
敬弔／お知らせ	24



サルビア

花言葉

「家族愛」「尊重」

片山偕子 画

会員増強・ 新クラブ結成推進月間に寄せて



国際ロータリー 第2660地区 ガバナー **片山 勉**
(大阪東RC)

本年度イアン・H.S.ライズリー RI会長は「『ロータリーとは何ですか』という問いに『どのような団体か』ではなく『何をしているか』で定義されます。

すなわち、ロータリーが私たちに与えてくれる可能性、そしてその可能性を有意義かつ持続可能な奉仕によって実現する方法によって、定義されるのです。

そして、私たちは『ROTARY : MAKING A DIFFERENCE (変化をもたらす)』というテーマで答えます。それぞれどのような方法で奉仕することを選んだとしてもその理由は、奉仕を通じて人びとの人生に変化をもたらせると信じているからです。

私たちはその奉仕活動が、人数が多かろうが少なかろうが誰かの人生をより良くしていると知っています。ロータリー入会のきっかけが何であれ、私たちがロータリーにとどまり続けるのは、ロータリーで充実感を得ることができるからです。この充実感は、毎週、毎年、『変化をもたらす』ロータリーの一員であることから湧き出てくるものなのです。」と述べられています。

また本年1月のRI理事会で2021年以降のゾーン構成案が決定され、日本は3ゾーンから2.5ゾーンに変更(減少)されます。

日本の国際ロータリーにおける相対的地位の低下に歯止めをかけるには、そして何よりもクラブが存続・発展し、奉仕活動を続ける為に会員増強が必須です。

本年度のガバナースローガン「個性を活かし、参加しよう」と、具体的目標の中で強調していることは、下記の3点です。

1. ロータリーの理念と奉仕活動のバランスのとれた両立。
信頼・信用に裏付けされた人脈(繋がり)による友の輪・友垣と、職業人としての高い倫理観・高潔性がロータリーの目的であり、ロータリアンは個々の特性を活かして全員が奉仕活動に参加することができます。
2. 将来構想(戦略計画)の立案と推進
「魅力のある・元気のある・個性のあるクラブ」であり続けるためにクラブはどうあるべきかを考え、将来計画(例えば周年行事として)を立案し推進しなければなりません。そして、クラブは「ビジョン・ストーリー・スキル・スケジュール」を共有すべきです。
3. ロータリーの認知度向上
ロータリーの認知度を向上させ、会員基盤・クラブ基盤の強化を企り、世の中に良いことをしていること(奉仕活動)から得られる充実感・感動・誇りを感じましょう。



ロータリークラブの例会や奉仕活動が活性化し、広報活動によってクラブの認知度が向上すれば、会員基盤の強化が実現し、会員増強に繋がります。

会員増強やロータリーの認知度向上は、様々な奉仕活動による成果であり、クラブ活性化の有効な手段ではありますが、目的ではありません。

しかし 何もしなければ会員は増えず、クラブの活力が失われます。

会員増強は拡大・維持・勧誘の各々異なる要素があり、拡大・会員維持・会員勧誘をおこたると明るい未来は築けません。

新会員を募集するのに性別・年齢ではなく、資質を考えるべきでしょう。

また、若い世代へ入会をすすめ、若い人達にロータリーの魅力を語り、活動に参加する機会を与え、研修を継続し退会防止に繋げていなければ、人も組織も疲弊し、明るい未来のストーリーは描けないでしょう・・・IM毎に炉辺会合型の新会員研修をお願いします。

各クラブが魅力的で元気のあるクラブになるには、どうあるべきかを考え、個性ある効果的な奉仕活動は何かを追求し、しっかりと将来計画・戦略計画(例えば周年行事年度に向けた計画)を立てることが最重点目標となります。

そして、将来計画を実現するには、人材・会員数・財政面の具体的な目標(裏付け)が組み込まれるはずで。

各クラブがしっかり将来計画を立て、それを実践され、皆様の活動と御努力が心に残る1年となることを願っています。



会員増強・ 新クラブ結成推進月間にあたって

クラブ奉仕・拡大増強委員会 委員長

藤井 眞澄

(大阪南RC)



8月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。当2660地区も含めて日本のロータリークラブ会員数は1996.11をピークにおおよそ2/3まで減少しています。その要因として、経済の長期低迷、労働人口の減少、価値観の多様化などいろいろとされていますが、ロータリーに限らずどのような団体でも会員増強の努力を怠れば、活動が停滞し、いざれ行き詰ってしまいます。状況が変わればその変化に対応した増強活動が必要です。

今年度の片山Gは、「個性を生かし、参加しよう」のスローガンを掲げられ、具体的な活動目標として、「大きな奉仕活動や持続性のある奉仕活動を推進しそれぞれの会員が役割を持って参加することにより、会員の充実感、感動、誇りを高めると共に、これを公共イメージの向上に結び付けロータリーの認知度を高め、各クラブ純増2名の会員増強目標を達成し会員基盤の強化を図る」という方針を示されています。

今年度のための会員増強拡大セミナーを今年の6月3日(土)に大阪YMCA国際文化センターで開催しました。第一部では基調講演として、片山GE(当時)に会員増強の必要性について、RIの会員増強に対する新しい考え方と、理想とする会員像・クラブ像を中心に講演していただきました。

RIとして特に「ロータリークラブの会員になることの魅力を高め、会員として所属クラブとの関わりや絆を深める。そのために会員を惹きつけ、ロータリー活動に積極的に参加させることが大切である。そうして会員となる魅力が向上し、クラブの将来ビジョンに繋がり、クラブの友情、友愛、会員の絆にもつながってゆく。」との考え方を紹介され、また理想の会員として、「善良な市民であり、奉仕の理念を深く理解し、高い職業倫理を持ち自らの事業の社会的地位の向上に努めている等」を、また理想のクラブとしては、「明るく活気に満ちた風土で、会員ニーズに適った会員本位の運営がされ、会員満足度が高い等」との考え方を紹介されています。

引き続き第二部では、各クラブへお願いしたアンケートの集約結果とこの結果を踏まえた増強活動の方向性について私から報告し、その後増強活動で特徴的な取り組みをされている大阪西RC(メンバーズ・スカウティング・ユニットによる増強活動)、大阪梅田RC(会員増強同好会による継続的な増強活動)、東大阪RC(「60周年を80名で」の合言葉で工夫を凝らした増強活動)から活動内容を報告していただきました。

アンケート結果からは、各クラブでいろいろな取り組みをされているなかで増強に効果があった勧誘方法として、①全会員による候補者の提出、②例会などへの招待、③新入会員による勧誘、④退会しそうな会員への声掛け、⑤地道な勧誘活動などが挙げられており、新入会員の側から見た入会動機として、①クラブの魅力、人脈づくり、興味など自己メリットに結びつく、②知人などからの勧誘、熱意ある勧誘などが挙げられています。一方退会防止も含めた会員増強の課題として、①ロータリーの知名度・認知度不足、②魅力・入会メリットの説明が難しい、③出席義務、会費など会員負担が大きい、④例会、奉仕活動の充実、親睦の深化など魅力あるクラブ作り、⑤候補者の発掘、取り合い、⑥会員の増強意識、⑦会員の高齢化など、多くの課題が挙げられています。

これらの結果から会員増強の方向性として、

- ①研修の充実などを通じて奉仕の理念をしっかりと理解する。そのうえで、例会の工夫、奉仕活動の活発化、会員の親睦・交流、人材育成などを図り、クラブの魅力を高めてゆく。
- ②ロータリーの魅力をネット、パンフレット、マスコミなどで積極的に発信し、認知度を高めてゆく。
- ③全員参加により会員候補者を発掘し、候補者リストを作成する。リストは随時更新し、次年度に確実に引き継ぐ。パンフレットなどロータリーを分かりやすく説明するツールを充実し、熱心な勧誘活動を継続的に行う。また、男性に限らず、ロータリーにふさわしい人は積極的に勧誘する。
- ④より幅の広い候補者に入会していただくため、必要に応じ昨年度に認められたクラブの柔軟運営ルールを活用し



て、クラブ運用の多様化、正会員種別の多様化、衛星クラブの活用などを検討する。

- ⑤ロータリーの活動は原則として単年度制ですが、これらの活動を毎年スパイラルアップしてゆくためには、「活動の継続性」が重要です。クラブの「戦略計画委員会」などで、会員数も含めた将来のありたいクラブの姿を描き、具体的な目標と行動計画を策定し実行し、毎年結果をチェックし状況の変化も加味して見直してゆく。

言うまでもなく、これらの活動を効果的に進めるには、会長、役員などのリーダーの強力なリーダーシップが大切です。厳しい状況ではありますが、今年度の大幅な会員増を目指して頑張りましょう。



RI第3ゾーン戦略計画推進セミナー 報告

RI第3ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター
 パストガバナー

横山 守雄

(大阪中央RC)

本年度の標記セミナーは齋藤直美、石黒慶一両RI理事、三木明RI理事エレクト、北清治R財団管理委員ご臨席の下、第3ゾーン11地区130名の地区リーダーが参加し、7月8日(土)岡山市「ピュリティまぎび」にて開催されました。当地区からは片山G、山本GE、若林RC、横山RPIC、高島ARC、溝畑ARRFC、G補佐、関係地区委員長など13名が出席いたしました。

本セミナーでは、ロータリーの戦略的目標3分野の活動を各地区・クラブで本年度どのように展開するか、それぞれの担当コーディネーターから先ず活動目標とその方策についてのプレゼンを行いました。そのあと11地区ガバナーより意見表明がありました。

「クラブのサポートと強化」はロータリー・コーディネーター(RC)の担当分野です。本年度より当地区の若林紀男PGが新たに就任されました。今回のセミナーでは2016年規定審議会に参加され、日本代表議員世話人代表を務められました三木明RI理事エレクトが、「規定審議会から見た会員増強」というテーマで講演されました。

「公共イメージと認知度の向上」の担当はロータリー公共イメージコーディネーター(RPIC)です。本年度の3項目の重点活動目標とそのプロセスについて横山RPICがプレゼン致しました。その発表内容については、7月15日開催の「地区公共イメージ向上セミナー」で改めて説明を行いました。

「人道的奉仕の重点化と増加」の担当はロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)です。RRFCに付随する職務として「恒久基金/大口寄付アドバイザー」(EMGA)とポリオ撲滅担当コーディネーター(EPNZC)があり、それぞれの担当コーディネーターが現状と本年度の活動目標について説明致しました。

最後に各地区のガバナー11名が登壇され戦略目標3分野の現在の地区における課題や本年度の重点的な活動目標などについての意見表明がありました。

次年度の当セミナーは当地区がホスト地区となり来年7月に開催予定です。RI理事、コーディネーター各位、山本GEと協議を進め、意義あるセミナーが開催できますよう準備を進めて参ります。





第1回 公共イメージ向上セミナー 報告

広報・公共イメージ向上委員会 委員長 **梅原一樹**
(大阪中之島RC)

日時 2017年7月15日(土) 14:00～16:00
会場 大阪YMCA会館

今年度、片山Gは活動方針の目標の一つに公共イメージの向上を掲げられておられます。その具体的内容がMY ROTARY登録率の50%以上達成と、ロータリークラブの認知度の向上になります。今回、初めてのセミナーを開催するにあたり、「MY ROTARYの登録率向上のポイント」、「公共イメージ向上の為の効果的な広報活動」を中心にプログラムを構成させていただきました。

まず、片山Gよりご挨拶をいただき、公共イメージの向上・ITへの対応の必要性を中心としたお話をいただきました。続いて第3ゾーンロータリー公共イメージコーディネーターの横山パストガバナーより第3ゾーンでの公共イメージの向上への取組み、クラブセントラルの活用について、ロータリーの友についてロータリーの友地区代表委員の藤田様よりお話しいただき前半を終了いたしました。

後半は、地区広報・公共イメージ向上委員会より委員長の梅原が委員会の具体的活動内容と公共イメージと認知度の向上の為の広報活動についての説明の後、第2660地区で唯一のMY ROTARY登録率100%のクラブである大阪アーバンRCの松尾委員よりMY ROTARY登録率向上の為の注意点、効果的な取組み方法についてご説明いただきました。続いて委員長の梅原よりロータリー・クラブセントラルの概要についての説明、山西委員より取材依頼書を活用した認知度向上のための広報活動についてのご説明をいただき、最後に山本GEよりご講評を頂戴し今回のセミナーを閉会いたしました。

世界中のロータリークラブが公共イメージと認知度の向上に向けた活動を行う事で、より多くの方々にロータリーの事を知ってもらえる機会が増えます。そうすれば我々の活動に共感してくれる方、サポートしてくれる方、共に活動してくれる方も増え、より大きな活動・世の中への変化を与える事が可能になります。RIのウェブサイト内にあるMY ROTARYやロータリーショーケース、新しくなった第2660地区ウェブサイト内にある活動報告、ロータリーの友・ガバナー月信の精読など、情報の発信・取得、デジタルメディア・アナログメディア問わず有効的に活用する事によりロータリーの活動に対する新たな情報・ヒントも得られます。公共イメージと認知度の向上とはロータリーのブランド力を高める事であり、目標を達成するには継続して取組む事が重要です。我々広報・公共イメージ向上委員会は皆様へのサポートを強化してまいりますので、積極的・効果的な広報活動を展開していただくようお願い申し上げます。

最後にご多忙の中セミナーにご出席頂いた皆様、ご尽力頂いたガバナー事務所の皆様、広報・公共イメージ向上委員会の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。





アトランタ国際大会 報告

2016-17年度 国際奉仕委員会 委員長 **木田 昌宏**
(吹田西RC)

6月11日、11時より私の所属クラブ(吹田西RC) 井伊会長ご夫妻とともに、宿泊をしていたリッツカールトンバックヘッドよりタクシーにて次年度地区国際奉仕 前田委員長・宮崎副委員長の宿泊をされているジョージアンテラスの待ち合わせ場所へ向かい、観光をしたあと、大会専用のシャトルバスに乗り国際大会のおこなわれているジョージア ワールド コンgressセンター (GWCC) に向かいました。GWCCは、大変広い会場で、アメリカのスケールを物語っているかのようでした。

開会式までには、まだ時間があつたので「友愛の家」を見学しました。たくさんのロータリークラブからの出展ブースを見学出来ました。日本からは東日本大震災で被害をこうむった東松山RCの出展がありました。震災後、震災前以上の復旧が出来、素晴らしい町になっていることをPRされていました。東京恵比寿RCの出展では、水と衛生プロジェクトが2008年から2016年にかけておこなわれた事業の紹介をされていました。また、ロシアや中国に対しロータリークラブを作る準備をしているブースがあつたのも印象的でした。

15時30分からは、開会式がおこなわれました。会場は、たいへん広く、どこに座ろうかと戸惑うほどでした。その会場の中に、当地区からは140名のロータリアンと関係者の方が参加されていました。

本会議については、各国語の同時通訳が提供され(有料でしたが) 歓迎の辞としてバリー・マシソン国際大会委員長、ついでロバート L・ホール国際大会ホスト組織委員長のご挨拶がありました。

そして、国旗入場式となり、たくさんの国にロータリークラブがあるのだと感じました。

続いて、アメリカジョージア州知事ネイサン・ディール氏の挨拶で、世界のロータリアンに歓迎の言葉を述べられ、ジョン F・ジャーム RI会長の家族のご紹介、そして、ジョン F・ジャーム会長のご挨拶として、「財団100 年を振り返って暮らしと地域社会をより良くするために私達ロータリアンは活動してきました、今、その達成を誇りとともに振り返ろうという思いを伝えられました。また、財団生誕の地アトランタで100周年を祝い〔世界でよいこと〕をしてきた1世紀を誇りをもって振り返りながら、これからの1世紀の課題を一緒に考えましょう。」と投げかけられました。

前日の大阪ナイトと、この日だけの参加でしたが、ロータリアンであって良かったと再認識したすばらしい国際大会でした。





アトランタ国際大会 「RI2660地区大阪ナイト」報告

大阪北RC 2016-17年度 国際交流委員会 委員長 **廣瀬 哲三**

今般、アトランタにて開催されたロータリー国際大会開会式前日の6月10日(土)に、2660地区の「大阪ナイト」が開催されました。

各クラブへご案内を差し上げましたところ、当初50名程度の皆様のご参加を予定しておりましたが、最終的には128名もの多数の皆様にご参加頂き、ホストクラブと致しましても感謝感激であります。

浜田地区代表幹事の開会宣言の後、松本Gのご挨拶、第3ゾーン on to アトランタ コーディネーターも務めておられる若林PGの基調講演、木田地区国際奉仕委員長より地区国際奉仕委員会のご報告をいただきました。その後、大谷PGより乾杯のご発声を頂戴し、アトランタで屈指のイタリアンレストラン「Maggiano's」の料理に舌鼓を打ちつつ、これまた有名なジャズバンド「John Robertson trio」の軽快なジャズを聴き、各クラブの友好を深めました。

最後は大阪北RCの宮野国際交流副委員長のピアノ演奏により、「手に手つないで」の大合唱の後、片山GE(当時)より閉会のご挨拶をいただき楽しかった大阪ナイトが無事閉会となりました。

ご参加頂きました皆様に感謝申し上げます。





2020-21年度 ガバナー候補者推薦について

国際ロータリー第2660地区 ガバナー **片山 勉**
地区ガバナー指名委員会 委員長 **松本 進也**

RI細則第14条14.010の規定及び地区ガバナー指名委員会の規定により地区内の各クラブで2020年-2021年度ガバナー候補者がおられましたら、2017年10月31日までにガバナー指名委員会委員長（地区ガバナー事務所）宛に必着するよう提案して下さい。

なお、2020-2021年度に地区ガバナーにノミネートされるための資格条件については、国際ロータリー細則第16条16.070、16.070.1～16.070.5の条件を満たす者であることを要します。

また、地区ガバナー指名委員会が地区ガバナーノミネー候補者の選択を行うにあたっては、その選択の範囲は地区内クラブによって提案された候補者に限定されるものではない、ということをご了承下さい。

RI細則第14条14.020.5（参照）



2019年規定審議会・立法案提出について

国際ロータリー第2660地区 ガバナー **片山 勉**
2019年規定審議会委員会 地区代表議員 **大谷 透**

RIの立法機関であります「規定審議会」は、3年毎に米国のシカゴで開催されます。次回の開催は、2019年4月に予定されております。地区内各クラブ及び会員の皆様から、クラブ、地区、延いては国際ロータリー全体の発展に繋がるような立法案（制定案・決議案）をご提出頂き、RIの立法制度に出来るだけ多くのクラブの皆様方に参画頂くために当地区では下記の要領にて進めて行くことになりました。

- 1 提出期限 2017年9月30日（土）限り、当地区ガバナー事務所必着。
RIへの提出期限は同年12月31日ですが、地区大会での承認が必要な為、提出以前に必要な手続を考慮して、9月末を地区への提出期限としております。
- 2 提案方法 ①クラブ理事会が立法案を会員に通知した上で、クラブ例会で採択して下さい。
②採択された立法案にクラブが採択したことを証明するクラブ会長と幹事の署名入りの書簡を添えて、当地区ガバナー事務所に送付して下さい。
- 3 提案書 提出する立法案には以下の項目を含めて下さい。
①提案クラブ名
②提案の趣旨および効果に関する300語以内の説明文
③提案する組織規定の変更を入れた（下線又は取消線使用）
ワード文書（組織規定のワード文書は、ロータリーのウェブサイト（www.rotary.org/myrotary/ja）の「ラーニング&参考資料」のメニューにある「組織規定」からダウンロードできます）
- 4 地区の承認 地区に送付された立法案は2017年11月開催の地区大会で地区の承認を得ます。地区承認を受けていない立法案は、規定審議会に提出できません。
- 5 立法案提出 地区大会で承認を受けた立法案は、2017年12月31日までにガバナーからRIに提出します。
【詳細は、2016年手続要覧31-33頁をご参照下さい。】

なお、当地区内で各クラブからご提案頂きました立法案の受付窓口として、またRI規定審議会へ提出する以前に必要な提案内容の予備審査、地区大会での立法案の採決、RIへの立法案申請手続き、規定審議会終了後の結果報告などの職務を担当するガバナー直轄の委員会の構成メンバーは次の通りです。

地区ガバナー	片山 勉	(大阪東RC)
委員長	大谷 透	2019年規定審議会 代表議員 (大阪西南RC)
副委員長	岡部 泰鑑	2019年規定審議会 補欠代表議員 (大阪城南RC)
委員	横山 守雄	2016年規定審議会 代表議員 (大阪中央RC)
〃	松本 進也	直前ガバナー (大阪北RC)
〃	山本 博史	ガバナーエレクト (大阪南RC)
〃	四宮 孝郎	ガバナーノミニエ (大阪西南RC)
〃	塩谷 眞治	地区代表幹事 (大阪東RC)



ロータリー財団 2017-18年度 奨学生提唱（推薦）のお願い

地区ロータリー財団委員会奨学金小委員会 委員長
ロータリー平和フェロシップ委員会 委員長

岩佐嘉昭

(東大阪RC)

当地区では、今年度もロータリー財団の補助金による奨学生候補者を募集致します。申請要件を満たす奨学生候補者がおられましたら、是非クラブ推薦をお願い申し上げます。推薦に先立ち、次の募集要項および当地区の「財団補助金申請ハンドブック」の23～26頁をご参照下さい。

推薦頂いた候補者が地区による選考を経て財団本部より承認された後、奨学生提唱（推薦）クラブには、奨学金プログラム終了後（奨学生帰国後）も奨学生を例会や行事に招くなど長期にわたり交流頂き、将来ロータリアンとしてクラブに迎えて頂くことが推奨されています。

財団奨学生について御質問などございましたら、地区財団委員会 奨学金小委員会までお問い合わせ下さいますようお願い申し上げます。

【概要】

	①グローバル奨学生	②ロータリー平和フェロー
募集奨学生候補	6重点分野に(※) 貢献するキャリアを目指す大学院生や職業人	草の根や国際レベルで、平和活動に貢献する人材
派遣年度	2018年度	2019年度以降
地区の応募締め切り	2017年 9～10月	2018年 5月末

①グローバル補助金奨学生

奨学金の用途	渡航費用、授業料、住居費、生活費、保険など
募集人員	若干名
奨学金	3万ドル以上
留学時期	2018年度 8月以降
派遣期間	1-2年
申請受付	2017年9月1日～10月31日
資格	<ul style="list-style-type: none"> ①国際ロータリーの6重点分野(※)のいずれかに該当する分野でキャリアを築く事を目標とし、大学院レベルの教育目標もこれに関連すること ②学歴、職歴、活動歴が6重点分野(※)に関わっていること ③留学先がロータリーのある国であること ④グローバル補助金申請時に入学許可状、招請状、学費支援の保証を必要とする条件付き入学許可状を提出できること(2018年2月頃) ⑤受入国の言語に堪能であること ⑥第2660地区内に在住、あるいは在学・在職、または本籍を有すること ⑦日本国籍、あるいは永住権を有すること <p>※既に海外在住(就学・就業)の場合、申請は受け付けておりません。 ※第2660地区以外の地区や、ロータリー以外の団体が提供する奨学金との並行申請は御遠慮下さい</p>



※6重点分野	<ul style="list-style-type: none"> ① 平和と紛争予防/紛争解決 ② 疾病予防と治療 ③ 水と衛生 ④ 母子の健康 ⑤ 基本的教育と識字率向上 ⑥ 経済と地域社会の発展
--------	---

②ロータリー平和フェロー（平和と紛争解決）

奨学金の用途	渡航費用、派遣期間中の授業料、住居費、生活費、保険など
留 学 先	<p>以下のロータリー平和センター</p> <p>修士課程プログラム ・デューク大学およびノースカロライナ大学チャペルヒル校（米国） ・国際基督教大学（日本） ・ブラッドフォード大学（英国） ・クイーンズランド大学（オーストラリア） ・ウプサラ大学（スウェーデン）</p> <p>修士課程プログラム ・チュラロンコーン大学（タイ）</p>
募集人員	若干名
派遣期間	<p>修士課程：15～24ヶ月（提携大学による）</p> <p>専門修了証コース：3ヶ月</p>
申請受付	2018年5月31日まで
選考基準と資格	<ul style="list-style-type: none"> ① 学士号またはそれに相当する学位（修士号取得プログラム）、あるいは職務経験（専門能力開発修了証プログラム） ② 有給・無給を問わず、平和と紛争解決分野において少なくとも合計3年間のフルタイムの職歴（修士号取得プログラム） ③ 平和と紛争解決分野における中級職または上級職において、少なくとも合計5年間のフルタイムの職歴（専門能力開発修了証プログラム） ④ 英語に堪能であること。さらに、第二外国語に堪能であること（修士号取得プログラムのみ）。国際基督教大学（日本）への留学を申請する場合、日本語の語学力は必須条件ではありません。 ⑤ 優れたリーダーシップ能力 ⑥ 個人的活動や社会奉仕活動を通して、または学問上、職務上の実績を通して、国際理解と平和への専心を実証



春のRYLAセミナー 報告

2016-17年度 青少年活動委員会 委員長

瓦谷 勝

(大阪西南RC)

春のRYLAセミナーは、池田の不死王閣にて5月3日～5日の2泊3日で受講生43名を迎え開催されました。幸い天候にも恵まれ、素晴らしい環境で受講することができました。

今回のRYLAセミナーは、「21世紀を生きる君たちへ」というテーマであの東京オリンピック誘致を成功に導かれたパストガバナー水野正人様の講演を賜りました。人をひきつける話力と満面の笑顔で訴えかける姿で受講生を魅了されました。講演の中で人を動かす影響力について話されました。①暴力、②お金、③地位、④専門性、⑤情報、⑥コネ、⑦人間性。その中でも一番重要なのは、⑦の人間性です。人から尊敬される人間性を身につけることが出来れば人は自然とついてきてくれます。受講生だけでなくロータリアンも共感することが出来ました。基調講演が終われば、アイスブレイクで受講生、ロータリアンが打ち解けます。食事の後は、温泉にも入ることができました。次の日は、朝の集い、体操で目を覚まし、近くにある久安寺を見学し、池田くれはRCの会員の住職より説法を賜りました。

1976年に日本で初めて当時の266地区（現在の第2660、2640地区）から始まったRYLAの歴史と伝統を受け継ぎつつ本年度は、池田くれはRCの提案に基づき原点に戻ったRYLAプログラムをチームRYLAが中心となり進行しました。チームRYLAにとってもやりがいのある、また受講生自らが考え、議論し、行動するといった指導者を養成する内容となりました。

今回のセミナーの中で砂漠からの脱出を実習しました。飛行機が砂漠に落ちて奇跡的に助かり生き延びる方法を見つけるというゲームです。持ち物の中から脱出するための優先順位を紙に書きます。一番に選んだのが、ほぼ全員”水”でした。あとは、パラシュート、懐中電灯、雨具などを選ぶケースが多かったようです。結局は、模範解答として1番必要なものは鏡でした。その場を動かずに救出してもらう為に信号を送るというものでした。自分で考え最適な方法を見つけ出しみんなで話し合い、コンセンサスを取りより最適な答えを導くというゲームです。これは実社会でも必要な事で自分ひとりの意見を押し通すだけでは世の中は成り立たないという教がこのゲームの趣旨です。

またRYLAプログラムの中でも人気なのが、ロータリーパパ・ママ制度で、このプログラムは、2660地区独自のものです。ロータリーの友にも5月号で掲載されていますのでロータリアンの皆様ご覧ください。いつも言うのですがRYLAセミナーは、受講生だけのものではありません。ロータリアンの研修でもあります。セミナーが終わるとホストクラブの結束も固まりますし受講生との交流も続く場合がよくあります。

ここ最近、RYLAセミナーを見直そうという話をよく聞きます。しかしながら受講生もロータリアンもRYLAセミナーを経験しますと、素晴らしいセミナーだったと実感されます。RYLArianからRACに入会するケースも増えています。そしてローターアクターが、ロータリアンになるケースも増えています。青少年のともし火を消す事無く永遠にこのセミナーが続くことを祈念して2016-17年のRYLAセミナーのご報告とさせていただきます。

ゴールデンウィークにもかかわらず会場である不死王閣までお越しいただきました144名のロータリアンの皆様に御礼申し上げます。そして春のRYLAセミナーのホストをしていただきました池田くれはRCの皆様、チームRYLA、青少年活動委員は、1年前からご準備いただきこのセミナーを成功に導いていただき有難うございました。





青少年交換 来日学生・派遣学生 歓送会 報告

2016-17年度 青少年交換委員会 委員長

西邨 智雄

(香里園RC)

「青少年交換来日学生・派遣学生歓送会」を6月17日に、シティプラザ大阪で開催しました。

お世話になったホストクラブ、ホストファミリー、地区関係各位をお招きしての盛大な会になりました。

8人の来日学生、6人の派遣学生合わせて参加者は100人を越える数になりました。

歓送会直前にはスピーチコンテストも行われ、来日学生からは、日本で触れることのできた文化、習慣などについて多くの思い出を聞くことができました。また、同日には派遣生のための最後のオリエンテーションも行われ、派遣学生からは力強い抱負を聞くことができ、双方ともに交流をとおして、国際理解に基づく世界平和の基礎が構築されることと確信します。

年間を通じて来日学生・派遣学生の想いは各種の事業ごとに感じ取ることができました、

彼らが言うには

- ①日本の滞在中には多くの大切な体験をすることができ、ホストファミリーの優しさ、温かさは不安な滞在生活を楽しく意義あるものに代えてくれました。
- ②今回の派遣で日本について学んだこと、身につけたことを大切な経験として、いつまでも心にとどめておきたいと思えます。

また派遣学生たちも

- ①国際交流、理解など大きな目的を持って派遣国へ行ってきました。
- ②現地ではその国での文化をはじめ、生活習慣、学習のことなど多くの関心を持って、体感し、学んできたいと思えます。

二度のホストファミリーランチを始め、色々な機会でお話を聴く機会がありました。

- ①生活習慣の違い、言葉の問題など多少の不安要素がありましたものの、彼らの滞在期間中に大きく成長した部分をみたと、ホストファミリーとしてのやりがいを実感することができました。
- ②日本での経験を活かしながら世界に羽ばたいてくれることを願っています。

当プログラムにご理解ご協力いただきました関係各位に衷心よりお礼申し上げます。





開明中学校・高等学校 インターアクトクラブ認定状伝達式 報告

2016-17年度 インターアクト委員会 委員長 **小池 貢**
(大阪帝塚山RC)

6月20日、開明中学校・高等学校で同校のインターアクトクラブの認定状伝達式が開催されました。同校からは理事長・校長をはじめ6名、インターアクトクラブ部員33名、RI2660地区からは松本Gをはじめ6名、そして提唱クラブである大阪中之島RC、大阪東RCからは各クラブの会長をはじめ15名、総勢60名が参加する式となりました。

会場に入った私には、大阪中之島RCの村橋会長が同クラブの25周年記念事業の一つとして、IACを提唱したいと来られたのがつい先日のことのように思い出され、たいへんスピーディーに設立をされたなと改めて驚きを感じました。

松本Gより認定状を授与され、大阪中之島RC・大阪東RCの各会長より目録が手渡された生徒たちは身の引き締まる思いがし、またこれからへの期待に胸が膨らんだのではないのでしょうか。

4月に同校にIACの活動についてご説明にお伺いしたところ、すでに部員を募集されているとお聞きしました。また、他地区ではありますが、顧問になられた三本杉先生がインターアクターであったと伺い、IACの活動に十分なご理解・ご協力をいただけることに安心しました。さらに、三本杉先生がご自分の経験を生徒たちに伝えてくださったからか、チャーターメンバーとして33名もの部員が集まったことに頼もしさも感じました。

伝達式終了後、ロータリアン、インターアクター入り混じっての懇親会となりました。私の周りにいた生徒たちには、これからこんな体験ができるよ、あんな体験ができるよといろいろな話をしました。RAC・ROTEXとの交流などの話もし、楽しく懇親会に参加させていただきました。

IACは9校、そして10クラブの提唱クラブが参加する大きな組織となってまいりました。一つの行事を開催するのに数百名の参加が予想されます。私たちは事故のないように注意しつつ、たくさんの笑顔を見守りながら、インターアクターたちが成長していく姿を拝見させていただくのを楽しみにしています。





2017年7月14日に大阪中之島RCと大阪東RCの共同提唱の申請が承認されました。
第2660地区内のインターアクトクラブは9校、提唱クラブは10クラブとなりました。





Interact
ロータリー提唱クラブ

結成認定状

Kaimei Junior High School & High School
インターアクトクラブ
(Club ID : 216438 / 結成日 : 2017年4月1日)

上記クラブの役員と会員は 国際ロータリーのインターアクトプログラムの
定款と細則の規定に従うことに同意しました
よってここにインターアクトクラブの結成を認定します

提唱ロータリークラブ名
Osaka-Nakanoshima, Osaka, Japan
Osaka-East, Osaka, Japan

提唱ロータリークラブ会長

日付



国際ロータリー会長
14 July 2017

日付

64718-0115



DDF・DG配分実績 報告

ロータリー財団委員会 委員長

宮里唯子

(茨木西RC)

地区の財団補助金プログラムの参加資格認定『地区の覚書(MOU)』では、第7項 補助金の使用に関する報告で、「地区は、全ての地区財団活動資金(DDF)の使用に関して、クラブに報告しなければならない」としています。

つきましては、地区内ロータリアンの皆様に、2016-17年度の当地区DDFの配分を以下御報告申し上げます。

【2016-17年度 第2660地区 DDF配分実績】

収 入 (US\$)		支 出 (US\$)	
2013-14年次基金寄付の50%	290,419.45	ポリオ基金寄付	58,100.00
恒久基金寄付収益の50%	28,359.37	ロータリー平和センターへ寄付	10,000.00
2015-16年度からの繰越金	158,048.12	地区補助金(①)	146,034.00
		グローバル補助金(②)	158,084.00
合 計	476,826.94	合 計	372,218.00
残 高 (2017-18年度に繰越)			104,608.94

【地区補助金配分実績】①

クラブ名 (RC)	活動概要	補助金額 (US\$)
大阪リバーサイド	児童施設の子供達を観光に招待	2,727.00
大阪南	子供ホスピスに介護器材を贈呈し、イベント開催	5,455.00
大東	発達障害児施設に遊具贈呈	1,820.00
高槻東	地元の子供達に相撲教室開催	5,455.00
高槻	感染症予防啓発キャンペーン(マレーシア)	1,872.00
大阪北梅田	特別支援学校に遊具贈呈	2,636.00
大阪天満橋	発育上問題を抱える児童の治療施設でイベント開催	2,374.00
大阪西南	児童施設の子供達をイベントに招待	2,715.00
茨木東	貧困部落に浄水器を提供(カンボジア)	2,527.00
東大阪中央	児童擁護施設の子供達にイベントを開催	2,575.00
高槻西	貧村で医療サービスを提供(インド)	1,827.00
大阪西	障害児施設に備品・教材を提供(インドネシア)	3,000.00
大阪柏原	児童擁護施設の子供達と生徒に農作業体験の機会を提供	2,740.00
吹田	被災した小学校の図書館を改修(フィリピン)	5,441.00
守口イブニング	庁舎待合室にテレビを寄贈	2,364.00



守口	自殺防止シンポジウムを開催	3,302.00
茨木西	地元児童のために交通安全標識を設置	2,718.00
大阪城東	地元行事で青少年と模擬店を運営、高齢者や住民との交流をはかる	2,015.00
大阪中之島	被災小中学校に運動教材・備品・楽器を贈呈	3,619.00
箕面	福祉施設に備品・暖房器具を贈呈	4,682.00
くずは	市民文化施設に備品寄贈	2,820.00
池田	貧困児童のための食堂施設に設備・食材贈呈	2,455.00
大阪心斎橋	児童に朝食を贈呈し、父兄に食育セミナーを実施(フィリピン)	1,818.00
大阪梅田	知的障害児童と父兄をスポーツ観戦・教室に招待	4,729.00
東大阪東	福祉・税務・医療など市民相談受付イベント開催	4,091.00
大阪帝塚山	貧村の教育施設に資材・備品を提供(カンボジア)	3,312.00
大阪淀川	スラム地区診療所に医薬品を提供(バングラディッシュ)	4,745.00
豊中千里	僻地部落で健康診断を実施(カンボジア)	2,864.00
交野	小学校図書館の建設と備品寄贈(カンボジア)	3,902.00
大阪難波	高齢者用施設に音響設備を提供	2,636.00
大阪北	母子ホーム施設に備品・教育ソフトの贈呈	5,455.00
大東中央	子供シェルターに備品・教材を提供	1,880.00
門真	地元を防犯カメラを設置	1,944.00
大阪東	大学生に奨学金提供(ベトナム)	3,164.00
大阪東淀ちゃやまち	留学生に奨学金を提供	1,841.00
豊中	留学生に奨学金を提供	3,273.00
吹田西	児童養護施設に自転車を寄贈、修理・メンテナンスの講習会を実施	1,841.00
管理運営費	銀行振り込み手数料	248.00
臨時費	熊本地震復興支援(阿蘇神社修復)	31,152.00
合 計		146,034.00

【グローバル補助金のためのDDF配分実績】⑩2

代表提唱クラブ(RC)	活動概要	補助金額(US\$)
東大阪	GG1638884 水と衛生@台湾	20,000.00
大阪リバーサイド	GG1639334 水と衛生@タイ	18,200.00
大阪南	GG1641409 グローバル奨学生 母子の健康	32,884.00
大阪南	GG1642360 疾病予防と治療@カンボジア	30,000.00
大阪北梅田	GG1743516 疾病予防と治療@タイ	17,000.00
高槻東	GG1744548 疾病予防と治療@タイ	20,000.00
大阪西南	GG1755036 グローバル奨学生 平和と紛争予防/解決	10,000.00
大阪東	GG1755376 グローバル奨学生 平和と紛争予防/解決	10,000.00
合 計		158,084.00



MY ROTARY アカウント登録方法

Step: 1

"my.rotary.org" にアクセス、または "MY ROTARY" で検索

Step: 2

右上にある "アカウント登録" をクリック



Step: 3

名前(半角アルファベット)・メールアドレスを入力



注意!

"住所・郵便番号・その他のEメールアドレス" の入力欄が表示された場合は必ず作業をストップし、後日クラブ役員または事務局にお問い合わせください。

Step: 4

メールが届くので "アカウントを有効にする" のボタンをクリック

Step: 5

パスワード/秘密の質問を設定 (忘れない様に必ずどこかに記録してください)

Step: 6

クラブの関係者ですか? はい / Remember Me にチェック、
"Sign In" のボタンをクリック

以上で登録は完了です。既に登録済みの方もログイン後のページ左側に所属クラブの情報が表示されているかご確認ください。所属クラブの情報(My Club Snapshot)が表示されていない場合はロータリークラブのメンバーとして認証ができていません。その場合は、国際ロータリー日本事務局 (TEL: 03-5439-5800) へ連絡のうえ、必要情報(会員ID・クラブ名・氏名・メールアドレス)を伝え認証を行ってください。





2017-18年度 国際ロータリー第2660地区 MY ROTARY 登録状況 [2017年7月度]

2017-18年度
登録率目標
50%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
池田	32	11	34.4%
池田くれは	30	8	26.7%
箕面	28	4	14.3%
箕面千里中央	21	3	14.3%
豊中	36	6	16.7%
豊中千里	37	11	29.7%
豊中南	21	3	14.3%
	205	46	22.4%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
茨木	30	8	26.7%
茨木東	38	1	2.6%
茨木西	27	12	44.4%
千里	32	8	25.0%
千里メイプル	21	4	19.0%
摂津	32	8	25.0%
吹田	60	24	40.0%
吹田江坂	28	7	25.0%
吹田西	50	10	20.0%
高槻	53	28	52.8%
高槻東	37	16	43.2%
高槻西	21	7	33.3%
	429	133	31.0%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
大東	40	10	25.0%
大東中央	27	4	14.8%
枚方	51	15	29.4%
門真	30	9	30.0%
交野	35	4	11.4%
香里園	14	7	50.0%
くずは	60	15	25.0%
守口	41	4	9.8%
守口イブニング	24	3	12.5%
寝屋川	38	4	10.5%
四条畷	5	1	20.0%
	365	76	20.8%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
東大阪	77	18	23.4%
東大阪西	28	4	14.3%
東大阪東	61	16	26.2%
東大阪中央	22	4	18.2%
東大阪みどり	23	3	13.0%
大阪ネクスト	24	9	37.5%
大阪柏原	26	8	30.8%
八尾	54	10	18.5%
八尾中央	14	5	35.7%
八尾東	27	1	3.7%
	356	78	21.9%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
大阪中央	40	13	32.5%
大阪堂島	24	4	16.7%
大阪北梅田	64	14	21.9%
大阪そねざき	32	5	15.6%
大阪梅田	36	9	25.0%
大阪ユニバーサルシティ	35	8	22.9%
大阪北	184	59	32.1%
大阪西北	43	7	16.3%
大阪大淀	42	7	16.7%
大阪リバーサイド	32	17	53.1%
大阪梅田東	39	3	7.7%
大阪西	99	20	20.2%
大阪水都	45	4	8.9%
	715	170	23.8%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
大阪	266	11	4.1%
大阪東淀ちゃやまち	27	4	14.8%
大阪鶴見	32	5	15.6%
大阪東	124	35	28.2%
大阪城東	34	7	20.6%
大阪中之島	31	23	74.2%
大阪大手前	33	6	18.2%
大阪城北	57	12	21.1%
大阪天満橋	58	14	24.1%
大阪淀川	32	4	12.5%
新大阪	34	12	35.3%
	728	133	18.3%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
大阪フレンド	26	11	42.3%
大阪船場	40	2	5.0%
大阪うつぼ	33	13	39.4%
大阪御堂筋本町	47	8	17.0%
大阪難波	56	29	51.8%
大阪なにわ	19	3	15.8%
大阪心斎橋	38	12	31.6%
大阪南	160	122	76.3%
大阪西南	94	24	25.5%
	513	224	43.7%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
大阪イブニング	14	6	42.9%
大阪平野	42	13	31.0%
大阪みおつくし	11	9	81.8%
大阪咲洲	17	3	17.6%
大阪東南	35	7	20.0%
大阪天王寺	49	11	22.4%
大阪帝塚山	47	9	19.1%
大阪アーバン	30	30	100.0%
大阪城南	46	12	26.1%
	291	100	34.4%

2660地区	会員数	登録人数	登録率
2017年6月12日	3686	929	25.2%

2660地区	会員数	登録人数	登録率
2017年7月14日	3602	960	26.7%



文庫通信 (358号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約24,000点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

最近の文献から

- ◎ロータリー概論ーロータリー史からみた奉仕の理想 あわじ中央R.C. 2002 167p
- ◎ロータリーエッセイ-英米史の中でのポール P.ハリス考 矢作好英 2009 27p
- ◎ロータリーの基本～研修の手引き 本田博己 2012 40p
- ◎全く私(わたくし)的なロータリーの記録 井原俊彦 2015 83p
- ◎職業奉仕を学ぶ D.2680 2015 108p
- ◎クラブ会長スピーチ集 D.2650 2016 94p
- ◎『ロータリーの真髄』～変えてはいけないロータリー
深川純一 D.2510 IM実行委員会 2017 31p
[以上申込先：ロータリー文庫]
- ◎世界でよいことをしよう：ロータリー財団百年誌 デイビッド C.フォワード R.I. 2015 296p
[申込先：国際ロータリー日本事務局 FAX (03) 5439-0405]
- ◎ロータリー入門書2017～2018年度版 前原勝樹・重田政信・渡辺好政 2017 227p
[申込先：北斗事業出版 TEL (03) 5207-6681]
- ◎ロータリー財団ハンドブック D.2750 2017 112p
[申込先：D.2750 FAX (03) 5472-2750]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
 TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 開館：午前10時～午後5時 休館：土・日・祝祭日



Rotary
Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター NEWS

2017年8月号

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

■ 各ゾーンにはロータリーコーディネーター(RC)、ロータリー公共イメージコーディネーター(RPIC)、ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)、恒久基金/大口寄付アドバイザー(EMGA)の3人のコーディネーターと1人のアドバイザーが国際ロータリーから任命されています。私どもの役割は、研修者、コンサルタント、アドバイザーとして、ガバナーと地区チームの皆さまをサポートすることです。会員の入会と参加の促進、地域社会でのロータリーの推進、ロータリー財団の支援を通じて国際ロータリーの戦略計画を遂行するために、ガバナーの皆さまと地域リーダーがチームとなって協力することが重要となります。従いまして、地区セミナー、地区大会、PETS、地区研修・協議会などにおいて、それぞれの分野に関するプレゼンテーションを行うことのできる機会がありましたら、お手伝いをさせていただきます。コーディネーター、アドバイザーおよびコーディネーター補佐一同、今年度が皆さまにとって実り多い1年となることを願っております。



第1ゾーン ロータリーコーディネーター 酒井正人 (RID2510:函館五稜郭RC)

RCの主な役目は「クラブのサポートと強化」で、特に会員増強に向けた支援であります。しかし、ご承知のようにゾーンの再編が行われ、日本は2.5ゾーンに縮小されることとなります。これを元に戻すためには約6千名の会員を純増しなければなりません。日本には2千強のロータリークラブがあります。5年間で各クラブが純増3名を達成できれば決して夢のような話ではないと思います。みんなで頑張りましょう。



第1ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 鈴木秀憲 (RID2570:吹上RC)

公共イメージと認知度の向上のために行うべき事は、①我々ロータリアンの活動について ②世間へ発信する内容について ③世間へ発信する方法について の三つに分けられると考えます。単に広報するのではなく、「世間の方々に良いイメージでロータリーについてご理解頂く」事が大切です。この観点から、今後上記①,②,③について、皆様と共に考えたいと存じます。どうぞ宜しくお願い致します。



第2ゾーン ロータリーコーディネーター 田中正規 (RID2760:西尾RC)

昨年4月の規定審議会はロータリーの歴史上の転機と言われていました。すなわちクラブの裁量が大きくなり、柔軟性が増しました。柔軟なクラブ運営(例会の形式の多様化、出席要件の緩和、異なる会員種類の提供、例会スケジュールの変更等)とクラブの強化が求められています。それには例会の充実、多くの会員のリーダーシップの発揮、ビジョンの作成、新会員の指導等があります。戦略計画に基づき、目標設定、行動計画の立案、実行が必要とされます。そのために、RIから多くのリソースが提供されています。私たちゾーンのロータリーコーディネーターも利用してください。



第2ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 渡辺治夫 (RID2780:横須賀RC)

国際ロータリー第2ゾーン「ロータリー公共イメージコーディネーター」という身に余る重責に身の引き締まる思いであります。RPICの任務に初めて取り組みますが、誠心誠意務めてまいりますので皆様のお力添えを賜りたくお願い申し上げます。イアンH. S. ライズリーRI会長は、「ロータリーとは何ですか?」という問いに「自らの『行動』によって答えましょう」と述べました。そしてRIは「People of Action(世界を変える行動人)」公共イメージキャンペーンをはじめています。このキャンペーンに則り、行動を持って「公共イメージと認知度の向上」に取り組んで参りたいと存じます。



第3ゾーン ロータリーコーディネーター 若林紀男 (RID2660:大阪東RC)

愈々新年度が始まり、ガバナーの皆様には勇躍の思いを持って任務に就かれておられると存じます。RIの会長は年ごとに替わっても常に会員基盤の強化推進を提唱されます。日本に於いても「会員増強」は喫緊の課題であり、地区・クラブでは大きなウェイトをかけて取り組み続けておられます。本年度第3ゾーンのリーダーの方々と共に、地道にクラブ活性化→会員維持・会員増強の成果をあげる為、ARCによる地区別専任担当制を用いてご協力させていただきますので、どうぞ宜しくお願い致します。

関西地区担当 高島凱夫(D2660) 中国地区 伊藤 文利(D2690) 九州地区 穴井元昭(D2700)



第3ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 横山守雄 (D2660:大阪中央RC)

昨年度一年目はRPICとして、どの様な活動が各クラブと各地区にメリットを齎すことができるのか暗中模索の状態からスタートいたしました。ゾーン内各地区の皆様と対話を重ねることによって、各クラブや地区のニーズが次第に汲み取れるようになりました。近年、ロータリーの公共イメージと認知度の向上活動、そしてRI・地区・クラブ運営のIT化が加速しております。新年度はギアアップを図り会員の皆様にも少しでもお役に立てますように努力いたします。引き続き皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。



国際ロータリー第2660地区 2017-18年度 地区大会プログラム



今年度の地区大会は、大阪東ロータリークラブがホストを務め、今秋11月10日（金）、11日（土）の両日開催されます。大会の準備も鋭意進んでおります。

地区大会は、地区内ロータリアン並びにそのご家族が一堂に集い、大勢の仲間と出会い友情の輪をひろげる年に一度の機会です。地区ロータリアンの皆様のご参加で、本大会が一層盛り上がりますよう、ご協力をお願い申し上げます。

個性を活かし、
参加しよう

大会
第1日

2017年11月10日（金）【帝国ホテル大阪】

15:00～15:45 オープニングセレモニー

16:00～17:00 分科会

①「会長・幹事・一般部門」

②「国際奉仕・青少年奉仕・一般部門」

15:30～16:45 家族の集い

「バランスよく日々を暮らす」

18:00～20:30 RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

大会
第2日

2017年11月11日（土）【NHK大阪ホール】

13:00～開会

15:00～特別講演

「未来へ 人類と人工知能」

16:30 閉会



ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE



お知らせ

敬 弔 — 謹んでご冥福をお祈り申し上げます —

橋本 晃芳 会員 (大阪西北RC) 2017年6月28日逝去 (享年98歳)

会長、理事、各委員長歴任

米山功労者(マルチプル)、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

事務所移転のお知らせ

東大阪中央RC

事務局 〒577-0802 東大阪市小阪本町1-5-14 小阪本町ロイヤルハイツ405号

電話番号 06-6753-8823 FAX 06-0753-8826

メールアドレス jahcrc@gmail.com

お詫びと訂正

冊子版ガバナー月信7月号に下記の誤りがございました。

お詫びして訂正いたします。(なお地区HPには、訂正済みのデータ版を掲載しております。)

P. 2 ガバナー就任挨拶・今年度の方針

2017-18年度の年次寄付年間目標を追記しました。

P.14 地区活動資金

「収入の部」及び「支出の部」の年度表記

【誤】15-16予算、16-17予算 【正】16-17予算、17-18予算

P.15 特別会計

1.地区大会資金、2.RI規定審議会派遣積立金、3.危機管理積立金、4.地区基金
各項目の年度表記

【誤】17-18予算、18-19予算 【正】16-17予算、17-18予算

P.16 米山奨学生活動費 下段の表

【誤】収入の部 【正】支出の部

P.22～23 組織図

戦略計画委員会 【追加】アドバイザー 若林紀男(大阪東)

職業奉仕委員会 委員長 【誤】北村 譲 【正】北村 譲

地区ロータリー財団委員会 資金管理小委員長 嘉納治郎右衛門 (名跡襲名のためお名前変更)

地区大会実行委員会 【追加】副幹事 島津 敏明(大阪東)

P.24 国際ロータリー第2660地区ロータリークラブ一覧表

大阪中央RC 会長 管家 基夫 (会長交替のため変更)

大阪みおつくしRC 例会場 訂正 【正】オ・セイリュウ TEL 06-6243-0041

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。

月信編集委員会

- ガバナー 片山 勉 (大阪東R C)
- 地区代表幹事 塩谷 眞治 (大阪東R C)
- 地区副代表幹事 土井 孝夫 (大阪東R C)
- 地区副代表幹事 小高 得央 (大阪東R C)
- 担当地区幹事 中川 宏一 (大阪東R C)
- 担当地区幹事 平野 哲也 (大阪東R C)
- 事務局員 船橋 美紗子

2017-2018年度
国際ロータリー 第2660地区

ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

ガバナー	片山 勉
地区代表幹事	塩谷 眞治
地区副代表幹事	土井 孝夫
	小高 得央
事務局長	栗正 久美
事務局員	井上 望美
	加茂 春日
	船橋 美紗子
	杉本 亜鶴巳

●所在地

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL 06-6264-2660
FAX 06-6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp

●ホームページ

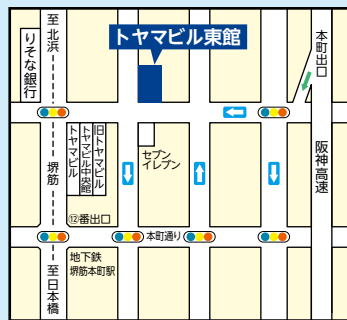
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●勤務時間

9:30~18:00

●休日

土曜、日曜、祝日
夏季
2017年 8月14日(月)~
2017年 8月16日(水)
年末年始
2017年12月29日(金)~
2018年 1月 4日(休)



※地下鉄堺筋線 堺筋本町 ⑫番出口すぐ

ガバナー事務所に会議室を併設しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。



国際ロータリー 第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階

TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan

TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp